

これを読めば 今がわかる

いしのまき普及センター通信 vol.165

Fukyu

特集

みどり認定制度 環境にやさしい農業へ 取り組むあなたを応援！

令和7年度 特に力を注ぎます!!～プロジェクト等の課題紹介

- ▶小ねぎ産地における次世代の人材育成
- ▶水田におけるばれいしょ及びさつまいもの安定生産
- ▶トマト黄化葉巻病の防除体系の構築
- ▶省力化技術の活用による優良大豆種子の生産性向上
- ▶普及重点活動 加工用たまねぎの直播栽培支援、水稻乾田直播栽培支援

写真:(株)デ・リーフデ北上の「みどり認定」のトマト栽培の様子

みどり認定制度 環境にやさしい農業へ!

ええっ!宮城で約**350**人、全国で約**2**万人も認定されてるの?

「みどり認定」全国で増加中!次はあなたの番です!

01 「みどり認定」 今の取り組みのまま受けられるかも?

【みどり認定ってなに?】

みどりの食料システム法に基づき、環境負荷を低減する5年間の計画(環境負荷低減事業活動実施計画)を作成し、知事の認定を受けることで様々な支援を受けられることができます。

【このような取り組みでみどり認定が受けられます】

みどり認定って何か難しそうだなと思う方もいると思いますが、既にやっている取り組みで認定を受けられる可能性があります。

例えば、

- ・水稲で、化学肥料・農薬を県慣行栽培基準より20%減らして栽培している
- ・無化学肥料で栽培をしている
- ・有機栽培に取り組んでいる など



令和9年度を目標に、みどり認定を受けた農業者による先進的な営農活動を支援する仕組みに移行することが検討されています。

02 「みどり認定」3つのメリット



税制優遇

青色申告を行う農業者の方は、認定を受けた計画に従って化学肥料・化学農薬の使用低減に必要な設備を導入した場合、次の金額を上乗せして償却できます。

- ・機械など：取得価額×32%
- ・建物など：取得価額×16%



補助金採択優遇

- ・みどりの食料システム戦略推進交付金
 - ・強い農業づくり総合支援交付金
 - ・畜産経営体生産性向上対策
 - ・農地利用効率化等支援交付金 など
- 国庫補助金の採択で優遇されます。



無利子融資

日本政策金融公庫の無利子融資等の貸付を受けられます。

- ・農業改良資金(無利子・償還期間の延長) など

03 申請までの簡単4ステップ

01 事前相談



分からないことはなんでもご相談ください。

02 申請書等の作成



分からない部分は一緒に作成しましょう。

03 申請書を提出



申請書等を作成したら、毎月25日までに申請してください。

04 認定



内容を審査の上、申請月の翌月末を目安に認定し、認定書等を送付します。

04 全国でみどり認定者が年々増加!



みどり認定者は年々増加傾向にあり、

現在、宮城県で**344**人、全国で**21,685**人が認定を受けています(令和7年3月末時点)。農協の生産部会など、グループ(団体)で申請することも可能です。

05 お問い合わせについて

まずは、お気軽にご相談ください!

○担当 農業振興部 農業振興班

○電話 0225-95-7809

令和7年度 特に力を注ぎます!!

～プロジェクト課題の紹介～

継続

小ねぎ産地における 次世代の人材育成

JAIいのまきスリムねぎ部会は、28戸の部会員を擁し、長年にわたって管内における重要な園芸品目である小ねぎを生産しています。

しかし、近年は部会員の高齢化が進んでおり、「スリムねぎ」産地の担い手として、若手部会員の活躍が期待されていました。

当普及センターでは、令和5年度からスリムねぎ部会の若手生産者を対象として、経営上の課題を明らかにし、その解決を支援したほか、産地としての課題とその対策について検討してきました。

今年度は、引き続き若手生産者の経営改善を支援するとともに、「スリムねぎ」産地の維持に向けた対策を具体化する取組を支援していきます。

**継続**

水田におけるばれいしょ 及びさつまいもの安定生産

石巻地域では近年、大規模露地園芸作物として、ばれいしょ、さつまいもの栽培に取り組む農業者が増え、作付面積が年々拡大しています。

対象とするばれいしょ生産2法人は10ha超、さつまいも生産法人は60aという大面積での作付けとなっているため、ほ場選定条件の限界や排水対策、病害虫防除などの課題があります。

本課題では、作付前の透水性調査による排水性改善、適期作業による病害虫発生の抑制、ほ場の利用効率を考えた輪作体系の検討等により、課題解決と生産安定を支援します。

**新**

トマト黄化葉巻病の 防除体系の構築

石巻地域では令和5年に初めてトマト黄化葉巻病の発生が確認され、令和6年には発生ほ場が増えるなど、被害が拡大しています。

トマト黄化葉巻病の被害を抑えるためには、病原ウイルスを媒介するタバコナジラミを防除する必要があります。

このため、本課題ではタバコナジラミ発生状況の把握や効果的な防除手法の検討、発生状況や防除手法について関係機関等との情報共有を行いながら、石巻地域における防除体系を構築します。

**継続**

省力化技術の活用による 優良大豆種子の生産性向上

宮城県は全国2位の大豆産地であり、種子生産も各地域で行われています。

優良な種子大豆の生産は大豆生産の基盤となる重要な事業ですが、現場では、病虫害等の被害を受けた大豆を除くための手選別が大きな負担となっており、撤退や縮小の意向を示す生産者も出てきています。

本課題では、収量・品質向上のための栽培技術指導と、アグリテック、色彩選別機等による省力化・軽労化の評価を行い、種子生産における省力化を支援します。

**春の農作業安全確認運動「徹底しよう!農業機械の転落・転倒対策」**

令和7年度 重点活動について



普及センターでは、プロジェクト課題以外にも、重点活動として管内で栽培面積が拡大している、加工用たまねぎ直播栽培や水稻乾田直播栽培についての支援を行います。このほか、「次代を担う多様な担い手の確保、育成と就労環境整備支援」「地域計画の実現に向けた取組支援」「法人経営体の経営安定支援」についても継続して取り組みます。

①地域における園芸振興品目（加工用たまねぎ）の生産推進（写真：上）

管内の特色ある園芸作物の振興に向けて、JAいしのまきが産地化を目指している加工用たまねぎの直播栽培について、苗立ち率の向上や排水・雑草対策等による増収に向けた技術支援を行います。

②水稻乾田直播栽培導入農家の早期の技術習得支援（写真：下）

管内で作付が拡大している乾田直播栽培について、ブロックローテーションによる作付や、栽培経験の浅い農業者・新規取組者等に対する、適切な施肥や水管理、雑草防除技術などの技術習得について支援します。

東部地方振興事務所農業振興部・石巻農業改良普及センターの紹介

班名			主な業務
農業振興部	調整指導班	0225-95-7115	農業振興地域整備・農地法、農業委員会、農協、経営基盤強化促進法、グリーンツーリズム、農地中間管理事業関係、農業金融など
	農業振興班	0225-95-7809	経営所得安定対策、農産物の生産振興対策、農薬・肥料の届出、環境保全型農業支援対策、アグリビジネス・6次産業化、農作物認証表示制度、震災関係交付金など
普及センター	地域農業班	0225-95-7612	地域農業振興計画推進、地域農業を担う組織の育成、多様な担い手の確保・育成、農村振興など
	先進技術第一班	0225-95-7612	作物（米・麦類・大豆等）、畜産の生産技術、経営管理、GAP、アグリテックなど
	先進技術第二班	0225-95-1435	野菜、果樹の生産技術、経営管理、農産物利用など

石巻農業改良普及センター職員紹介（座席表）

技術副参事
兼総括次長 鈴木

所長 寺島

総括技術次長 森谷

技術次長
(経営支援担当) 佐藤

地域農業班 0225-95-7612

やまぐち 新 班長 山口 - 総括 - 石巻、河南 - 花き	まつばら 新 班長 松原 - 桃生、牡鹿 - 女川町 - 農業士
くにしま 新 班長 國嶋 - 河北、北上、雄勝 - 女性農業者 - 表彰・展示会	あべ 新 班長 阿部 - 東松島市 - 青年農業者

先進技術第一班 0225-95-7612

いまげき 新 班長 今関 - 総括 作物 - 経営 - 畜産	さとう 班長 佐藤 作物
かわと 班長 川戸 - 作物 - GAP - アグリテック	さいとう 新 班長 齋藤 - 作物 - 作物種子生産

先進技術第二班 0225-95-1435

ほんだ 新 班長 本多 - 総括 野菜 - 果樹	さとう 新 班長 佐藤 - 野菜 6次産業化 - アグリテック
さの 新 班長 佐野 - 野菜 - 農産物利活用	

